東京の会通信

No.263

2015年11月1日号
（隔月1日発行）

発行：公的骨髄バンクを
支援する東京の会
〒162-0065 東京都新宿区
住吉町10-8 第1菊池ビル302号
TEL：03-3354-6377
（FAX兼用）

http://www.marrow.or.jp/tokyo/
e-mail:marrow_tokyo@yahoo.co.jp
定価 100 円

お祭りで骨髄バンクをアピール！

９月19日、新宿十二社 熊野神社禮大祭の一環で開かれた新宿駅西口のイベント。その一角に、東京の会のブースを設けていただき、骨髄バンクの啓発と募金活動をさせていただきました。東京の会会員で新宿西口の居酒屋店長、本業が俳優でもあり、２回の骨髄提供経験者でもある大橋一三さんの働きかけで、数年前から毎年参加させていただいています。

イベントは11時から始まり、昼時を迎えるとものすごい人の数になります。やきそば・たこやき・いか焼き・チヂミ等の出店、大手飲料会社４社による生ビール競演の屋台、ギター・トランペット・尺八・琵琶等のミニコンサートもあり楽しいイベントでした。

私たちはキティちゃんの幟を立て、ドナーリクルートのパンフとティッシュ配りや、親子連れに声をかけてわたあめ作りのお手伝い。おもちゃのお土産もあって、たくさんの子供たちに楽しんでもらいました。改めて思いましたが、わたあめって作るのが難しいです。

場所も東京のど真ん中、新宿駅前の小田急ハルク・ビックカメラの真ん前。陽気な新宿西口町内会の皆さんが中心になって、時間を追うごとに大いに盛り上がります。我々ボランティアは初日で引き上げましたが、お祭り・イベントは翌日まで続き、翌朝からは御神輿も登場する盛大なお祭りです。

地元新宿の民主党顧問・海江田万里さんも開会セレモニーにお見えになりました。通行人の半分は外国人です。ちょうどワールドカップバレー男子東京大会の前でもあったので、イラン・アルゼンチン・イタリア等々の選手も通りました。途轍もなくデカい！ベルト辺りがちょうど目の高さ...のように見えました。

新宿西口の皆さんのご支援で、かなり募金も集まりました。関係者の方々には心から感謝申し上げます。ありがとうございました。　（松阪一紀）

東京の会
「11月、12月定例会」のお知らせ

11月21日（土）、12月19日（土）午後5時30分より
（11月、12月は第3土曜日の開催となります）
会場：全労済東京会館3階会議室
※JR新宿駅西口下車7分（新宿区西新宿7-20-8）
※地下鉄丸の内線西新宿駅下車1番出口徒歩2分
青梅街道新宿警察署向かい・「キャン☆ドゥ」角入り右側
※12/19は定例会後に忘年会を行います！
※1月定例会予定・1月23日（土）午後5時30分より

1月会報発送
「おりおり」のお知らせ

12月の「おりおり」はありません！
会報が隔月刊となったため、発送作業も奇数月のみとなります。
1月9日（土）13時00分より
※13時までは品川運輸さんが使用されています。13時以降にお越し下さい。
場所：品川運輸・4階会議室（品川区東大井2-1-8）
JR大井町駅徒歩8分・京浜急行鮫洲駅徒歩2分
※今お読みになっている「東京の会通信」を約500部折って封入して発送します。簡単な誰にでも出来る作業です。いつも人手が足りません。どうかご協力を。
※2016年3月「おりおり」予定・3月5日（土）13時00分より

新しい方大歓迎です。お気軽においで下さい。お待ちしています。

いよいよ今月です！
「バラのかおりのコンサート」のお知らせ

以前からお知らせしていたピアノ三重奏チャリティコンサートが、いよいよ今月23日に開催されます。

今年のピアニストは、国内外でご活躍され高い評価を得ている高田匡隆さんにご協力いただき、ヴァイオリンの三戸さん、チェロの小澤さんとの新たなトリオでお送り致します。普段はクラシックに触れる機会があまりない方も、どうぞお気軽にお越し下さい。

またロビーでは、毎年好評の中澤ナーセリーさんの美しいバラの花束や、手作りのバラグッズを販売致します。秋の祝日、素敵な音楽とバラの香りに包まれた午後のひと時をお過ごし下さい。

皆様のご来場を心よりお待ちしております。

日時　2015年11月23日（月祝）
　　14:00開演（13:30開場）
場所　発明会館ホール(地下鉄「虎ノ門」駅　徒歩５分)
出演　ヴァイオリン　三戸素子
　　チェロ　　小澤洋介
　　ピアノ　　高田匡隆
料金　前売券　3,000円（当日券　3,500円）
　　全席自由

※演奏曲目、出演者のプロフィール等は、同封のチラシをご覧下さい。

しながわ宿場まつり
旧東海道で今年もバザーを出店

毎年９月の最終日曜日に開催される「しながわ宿場まつり」。東海道五十三次最初の宿場町として栄えた品川の、伝統と文化を伝えるこのイベントは今年も９月27日に行われ、東京の会は東京港南マリーンロータリークラブのご支援でバザーを出店しました。前日の土曜日に集まって商品の値札付けを行い、日曜日は朝８時に集合してテントの設営や骨髄バンクののぼりを立て、商品を運んで並べました。

品川の宿といえば、、、かなりの昔、徹夜のランニングの催しで、深夜静まり返った街道を女二人で駆け抜けた。日本橋から京都までの東海道歩きでは、落語やお芝居で有名な「品川心中」の舞台とされる「島崎楼」跡、「土蔵相模」跡や本陣跡などを興味深く見て歩いた。

そんな品川の宿に、東京の会に入ってからは、しながわ宿場まつりで関わることになった。

値札付け作業を終えた土曜日の午後、北品川で花魁（おいらん）のパネルから顔を出し、通りかかった人から写真を撮ってもらった。

宿場まつり当日は、江戸風俗に仮装した人々に混じりパレードに参加、ティッシュとギフトオブライフを

にこやかな売り子は東京の会メンバー

テントの前にはたくさんのお客様

配った。啖呵売りが特技の女性メンバーの、胸のすくような威勢の良い呼び声を聞かせていただいた。

毎年ロータリークラブの方々が提供して下さる、新鮮な野菜や有名ブランドの品々をあてにして、バザー開店前から群がる地元の方々。今年は古着（ほとんどが新品）が加わり、巷で噂の中国人観光客の「爆買い」までが有って、さらに活況を呈した。

毎回、宿場まつりでは、新鮮な体験をさせていただいている。　（幸川はるひ）

東京の会「山梨ぶどう狩り・バーベキュー・温泉ツアー」

東京の会では９月22、23日に一泊二日の親睦旅行を企画し、10名が参加しました。特急「かいじ」で勝沼ぶどう郷駅に着くと、甲府に単身赴任中の若木さんが車で迎えに来てくれていました。「山梨県骨髄バンクを推進する会」の高遠さんも車で参加して下さり、移動は若木さんの車と２台で、気ままに行先を相談しながらのドライブとなりました。

一日目は若木さんの案内でワイン工場の見学と買い物、昼食。それからハーブ庭園に行きました。他の観光客と一緒に案内係のおじさんの楽しい口上で、肌がスベスベになる化粧水や目の疲れがスッキリするブルーベリージュースなどを案内してもらい、試用や試飲もあって園内のショップは大賑わい。その後、温泉へ移動して富士山が見える露天風呂で、の～んびりお湯につかりリフレッシュ。更に車で20～30分走り、いよいよ本日の宿、「民宿あらい」さんに到着です。

ぶどう農家の素敵なご一家が経営する、広くて気兼ねのいらないお部屋で一休みの後、夜ご飯は星空の下のバーベキュー。食べきれないほどの肉や野菜を焼いてもらって大満足。部屋に戻って更に宴会が始まりましたが、東京の会も平均年齢が高くなって夜更かしは辛く、全員12時前には夢の中へと落ちていきました。

２日目の朝は全員参加のお餅つき

天女山への登り。みんな頑張りました。

翌日は朝から元気に杵と臼でお餅つき。つきたてのお餅は大根おろしや納豆や黄粉、あんこをからめて、美味しいお味噌汁や手作りこんにゃくと一緒にいただきました。出発の身支度を整えて、隣のぶどう畑でぶどう狩りを楽しんでからドライブに出発です。

俳優の柳生博さんご一家が営む、雑木林が美しい『八ヶ岳倶楽部』に立ち寄り、そこから車で５分ほどの天女山へ。駐車場から頂上までの標高差は154m。70歳代のパパ、ママ達も頑張って登りきり、頂上の展望台でみんなで食べたソフトクリームの美味しかったこと。

それから車で少し走り、遊歩道を15分ほど散策して吐竜の滝（どりゅうのたき)という美しい滝を訪れた後、更に移動して名水三分一湧水を見学しました。昼食は隣にある『そば処三分一』で美味しいお蕎麦をいただき、併設の三分一湧水館で八ヶ岳山麓の湧水や引水の歴史を学んだ後、甲府駅までの帰路につきました。盛りだくさんの二日間は、あっと言う間に終わってしまいました。本当に楽しく充実したツアーとなり、準備してくれた若木さんに感謝すると共に、二日間ずっと運転して下さったお二人へ、お疲れ様でした。ありがとうございました。来年もまたみんなで行けるといいですね。

（福永達子）

有楽町献血ルームでのドナーリクルート活動報告

６月、７月と新宿東口献血ルームでの活動に続き、９月、10月に有楽町献血ルームで献血と骨髄バンクドナー登録推進活動を行いました。

９月12日（土）は晴天で暑い日でしたが、８人のボランティアが参加して有楽町駅前交通会館ビルの歩道で呼びかけを行いました。ルーム内で骨髄バンクドナー登録の説明を聞くことを承諾された皆さんに説明し、登録を決意された方にドナー登録申込書を書いていただきました。当日の登録者は献血者181名に対し、21名でした。

次いで10月17日（土）は気象情報は雨が降ったり止んだりとのことでしたが、活動を始めるころから、曇ってはいましたが雨に降られることなく街頭活動を行うことができました。日赤さんから、ルーム内の声掛けの対象者について、予約献血者は外すようにとの指示がありました。予約献血者への説明で予約時間と問診・採血時間に齟齬が生じ、献血者からの苦情や、採血業務に支障があったのかもしれません。

ボランティア参加予定者は８名でしたが１人は明け方まで残業で徹夜勤務となったため休養してもらい、７名で活動しました。

当日の登録者は献血者189名に対し、10名でした。

（新田恭平）

心のこもったご寄付ありがとうございました。(2015.8.16～10.15)

幸川はるひさん　5,000円／仁野明人さん　1,000円／和泉屋正敏さん　3,000円／東井朝仁さん　10,000円
高橋真知子さん　10,000円／羽藤あゆみさん　1,000円／大浦幸一さん　5,000円／徳田ひろみさん　5,000円
新 清さん　1,000円／金子美智代さん　7,000円／秋山裕一さん　20,000円／宮坂祐輔さん　7,000円
溝口麻里子さん　2,000円／國分秀樹さん　2,000円／笠原正子さん　3,000円

お寄せいただいたご寄付のうち、会費未納の会員からは会費(年3,000円)を差し引いて掲載させていただきました。

▼今年の秋は日本の研究者お二人のノーベル賞受賞のニュースで始まりました。10月５日、医学生理学賞に大村智・北里大特別栄誉教授の受賞が伝えられ、続く６日には梶田隆章・東京大学宇宙線研究所長の物理学賞受賞が発表され、日本中が喜びに沸きました。

▼大村智栄誉教授の受賞対象となった業績は「寄生虫による感染症とマラリアの新治療法の発見」で、共同研究者米ドリュー大名誉研究フェロー　ウイリアム・キャンベルさんと共同で開発した「イベルメクチン」が評価された共同受賞、もう一人マラリアの治療薬研究者、中国の女性屠さんが薬草から発見した「アルテミシン」がマラリアの治療に有効であることが評価された３人の方の共同受賞です。

▼大村さんが開発にかかわられた「イベルメクチン」は、アフリカや中南米など熱帯地方で流行する「河川盲目症」という寄生虫由来の風土病で患者の20％が失明する恐れのある疾病に特効薬として使われ、年間３億人を失明から救っているとのことです。

▼大村さんはどこへ行かれるにもその土地の土を持ち帰る道具を持参され、持ち帰った土からカビなどの菌類を培養して、菌類が作り出す物質の有効性を根気強く調べる仕事を続けてこられました。今回のノーベル賞受賞に結び付いた「イベルメクチン」は1974年、静岡県伊東市のゴルフ場近くで採取した土から発見された細菌が作り出した物質が、当初は動物用寄生虫治療薬として使われましたが、その後改良されて人の治療薬としての「イベルメクチン」が生まれたのです。

▼今回の受賞から感銘を受けたことは、小さなことでも地道にこつこつとたゆまず続けていれば、何らかの成果にたどり着くことができるということです。私たちのボランティア活動もその一つのように感じます。

▼私たち骨髄バンクボランティアの発足時の目標はドナー登録者数を何とか10万人にすることでした。10万人が達成され、20万人が達成され30万人が新たな目標となりました。30万人が達成されその後多くのドナー登録者を積み重ね、現在の登録者数は45万人強です。すべての患者さんに適合ドナーが見つかり、コーディネート期間を短縮して適時に移植できる体制作りが目標となっています。

▼対策の一環として、ドナーさんが提供しやすい環境を作ることが必要と考え、ドナーとして提供時の打合せ、検査、入院等の休業に対する休業補償を含めた支援制度の普及活動が全国的に推進されてきました。平成23年４月の新潟県加茂市の実施を皮切りに漸増し、2015年９月現在全国111市区町村で提供ドナーさんと所属事業所に対する支援制度が実施されています。

▼当会では昨年から東京都でも同様の制度を創設して欲しいと都議会に請願を行った結果、東京都は提供ドナーに対し２万円/日、事業所に対し１万円/日、ただし通算７日以内、各区市町村が同様の制度を設けた場合を条件として、東京都が半額を助成する制度を創設しました。

▼東京都はこの制度創設を区市町村に対して今年３月に通知説明をされたとのことですが、制度の新設には原資の予算、運用システムの設計、条例の作成あるいは変更と広報など手続きを要するため、各区市町村が何らかのきっかけなしに推進することは期待できません。請願、陳情、要望など適切な手続きを特別区23区、26市６町７村に行って支援制度の創設をお願いしていきたいと考えています。こつこつ努力を積み重ねて東京都全域でのドナー支援を実現したいですね。

(k)

日本骨髄バンクの登録患者と検査済登録ドナー
(平成27年9月末日現在)

	ドナー(全国)	ドナー(東京)	患者(全国)
登録者累計	454,257	57,250	46,103
8-9月登録分	4,581	437	514
8-9月抹消数	3,282	401	－
実質登録増	1,299	36	－

患者とドナー登録･適合状況(9月末日現在)

ドナー登録受付者数（累計）　649,002人
ドナー登録抹消者数（累計）　194,745人
HLA適合報告ドナー数（累計）249,566人
実質登録患者実数（現在）　3,051人（国内1,495人）
HLA適合患者数（累計）　36,982人（患者累計数の80.2%）
非血縁移植実施数　18,696例（8-9月実施207例）